

科目名	教育実習Ⅱ				担当	吉澤 俊・今井 香織・多田 幸子 幼児教育学科教員			
形態	実習	単位数	教育実習Ⅰ、Ⅱ、 事前事後指導で5	開講 時期	1.2年 通年	実務経験	小中高特での教諭経験		
必修	幼免：必修 レク：選択必修				ナンバリング	Y5101	DPとの 関連	免1・ 免2	
授業概要	幼稚園における2週間の実習である。前半は、見学、観察実習、参加実習等を通して、子どもや幼稚園の様子を体験的に理解する。後半は、参加実習、指導実習（部分実習・半日実習・一日実習）等を通して、幼稚園および幼稚園教諭の役割や子どもへの理解を深め、幼稚園教諭としての資質を伸ばす。								
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義を理解し、責任をもって教育を行うことができる</li> <li>・十分な教材理解を行い、適切な教育指導を行うことができる</li> <li>・授業で学んだ知識・技術を現場で活用することができる</li> </ul>								
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 幼稚園教育の実際を体験し、幼稚園の機能及び幼稚園教諭の役割を理解する</li> <li>② 一人ひとりの子どもに対する理解を深め、適切な対応と指導を体験する</li> <li>③ 子どもの安全・衛生面に対する理解を深め、適切な対応と環境への配慮を学ぶ</li> <li>④ 幼児の実態に応じた指導計画を立案し、その指導を行う</li> <li>⑤ 幼稚園教諭としての責任感を持って行動し場面に応じた指導のあり方を学ぶ</li> </ol>								
評価基準	実習現地指導、実習園からの評価、実習日誌、指導計画を総合的に評価する								
評価方法	その他（実習）100% ＊以上が「教育実習Ⅱ事前事後指導」の評価である。教育実習は、「教育実習Ⅰ・Ⅱ事前事後指導」、「教育実習ⅠⅡ」で構成されるため、それぞれの評価の総合点を抽出したものが教育実習の評価となる。								
フィードバック方法	レポート、小テストと課題等は、採点後に授業中に返却し、講評する								
アクティブ ラーニング	グループワーク								
教科書	「上田女子短期大学実習ガイドブック」 「幼稚園教育要領」 岩崎淳子他『教育・保育課程論 書いて学べる指導計画』萌文書林、2015年								
参考書	担当教員の指示に従うこと								
履修条件	「教育実習Ⅱ事前指導」すべてに出席することが、「教育実習Ⅱ」の要件である。 また、本学幼児教育学科において定める実習実施基準を履修の条件とする。								
授業外学習	事前学習：事前指導で指示される課題（読みきかせの実技、指導計画の立案、日誌の書き方 等）について、各自取り組むこと 事後学習：丁寧に記録をとること								
オフィス アワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること								